

自動販売機リサイクルボックスへの

効果的な異物混入防止に関する実証事業への協力について

環境政策課生活環境係

1 実証事業について

(1) 内 容

- ア 自動販売機に啓発ポスター等を掲示することによる啓発・周知の効果の検証
- イ リサイクルボックスの撤去による散乱状況の変化の検証
- ウ 新機能リサイクルボックスの設置による効果の検証
(新旧のリサイクルボックス異物混入等についての比較)



(2) 運営主体

環境省

※協力都市として、調布市・川崎市

※協力団体として、(一社)日本自動販売協会・(一社)全国清涼飲料
連合会

(3) 期 間

令和4年10月31日(月)～令和4年12月末

(4) 実施場所

調布駅周辺(小島町1・2丁目および布田1・4丁目)

2 参考資料

別紙参照

2022年度 環境省実証事業

自販機リサイクルボックスへの効果的な異物混入防止に関する実証事業

■ 目的 : 自販機リサイクルボックスへの異物の不法投棄防止の有効な対策の検討。

- ◆ 自販機オペレーターが自販機横に設置する自販機リサイクルボックス(以下、自販機RB)に清涼飲料空容器以外のごみ(異物)が投棄され、ペットボトル等のリサイクルの品質や量に悪影響を与えていることが問題となっています。このため、市民による自販機RBへの異物投棄に対して有効な対策を検討するための実証事業を行う。

■ 運営 : 環境省環境再生・資源循環局リサイクル推進室。

- ◆ 協力都市 : 調布市, 川崎市。
- ◆ 協力団体 : (一社)日本自動販売協会, (一社)全国清涼飲料連合会。

■ 期間 : 2022年10月31日~12月 約2カ月間。

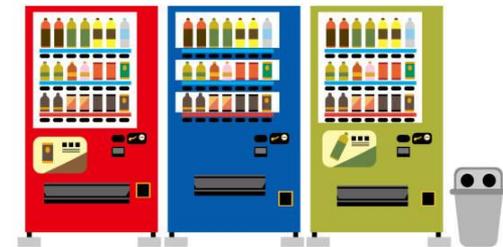
- ◆ 2023年2月に検証結果の報告。

■ 実施場所 : 調布駅周辺のエリア。

- ◆ 調布市 小島町1丁目, 小島町2丁目, 布田1丁目, 布田4丁目。

■ 実施規模 : 自販機リサイクルボックス 約100基。

- ◆ 実施場所に設置している飲料自販機横の自販機RB約100基。



■ 内容 : エリアの特性に応じた3つの施策を実施します。

【A】啓発活動

- ◆ エリア特性に応じた啓発メッセージの効果検証。
- ◆ 啓発の制作物(ポスター・ステッカー等)の自販機本体等への掲出。

→ 50基

【B】自販機RB撤去

- ◆ 自販機RB撤去による飲料空容器等の散乱状況の変化検証。
- ◆ 自販機RBの撤去後の有効な啓発制作物の掲出。
- ◆ 自販機RB撤去後は中間処理業者が定期巡回を行い飲料空容器等の散乱の状態が放置されない体制をつくります。

→ 7基

【C】新機能RB設置

- ◆ 新機能RBの先行設置による効果検証。
- ◆ 新機能RBの設置(現行設置の自販機RBとの入替)→継続設置。

→ 100基

啓発看板



新機能リサイクルボックス



自販機RBの現状

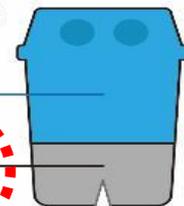
異物の混入により
リサイクルの品質や量に
悪影響が出ています

清涼飲料
空容器

69%

異物

31%



異物により
ごみ散乱の原因

異物により
リサイクル品質が低下

